

ほろろき シルバー 人材センター

令和元年(2019年)
春号 No.114



もくじ

- 第三次中期計画を語る／地域活動のあり方 …………… 2
- 定時総会案内／尼崎市シルバー研修 …………… 3
大シ協事例発表会
- 作品展／しるばーまつり・さくらまつり …………… 4・5
アクティブシニアフェスタ
- 安全適正就業通信／理事会だより …………… 6
- らくらくスマートフォン／クローバーだより …………… 7
講習会／同好会だより
- ひろば／事務局体制／クイズ／編集後記 …………… 8

あざやかに咲き誇る 「花しょうぶ」

(枚方市 山田池公園)

写真は 会員・小西 章氏の提供

silver

2019年度～2023年度

「新5か年・中期計画がスタート!!」

生きがいと地域ニーズ **結ぶ** 魅力あるシルバー



事務局長 小西 昭さん

新年度から第三次中期5か年計画がスタートしました。昨年9月から半年間、校区長や専門委員会、福祉関係組織の代表で構成される委員会で検討を重ねてきたもので、とりまとめに当たられた池浦副理事長、小西事務局長にポイント、意気込みなどを伺いました。

——中期計画の意味合いから。

池浦 中期計画というのは、基本的には前計画の戦略を引き継ぎながら、将来にわたり安定した事業運営が行えるよう、社会の変化に応じて新たな数値目標とセンターが進むべき方向を設定し、実現に



副理事長 池浦 豊さん
(就業開拓委員会 委員長)

向けて課題の解決に取り組むものです。そこで、会員の拡大と就業機会の拡充・発展を二本柱とし、さらに公益法人として地域社会に貢献できるセンターを目指します。——シルバー人材センターの役割が一段と高まっています。

小西 少子化と人手不足の進行で、社会の活力を維持するために高齢者の出番がますます増えていきます。「生涯現役」「人生100年時代」といわれ、高齢者の活躍の場は広がっています。発注者の多様なニーズに、的確、迅速に対応できる魅力あるセンターを目指します。

池浦 ご承知のように、シルバー人材センターは、健康で働く意欲のある高齢者が、これまでに培った知識・経験・技能を活かして自ら生きがいを作り出し、心豊かに老後を送ると同時に、地域社会への貢献を担う公益法人です。昨年の大阪北部地震では、被災された方の復旧を地域の会員がサポートして大変喜ばれました。地域の中に入って活動するには校区単位での活動が必要と実感しました。

小西 市の広報誌への掲載、市立

ギャラリーでの作品展などで「シルバー人材センター」の名称は浸透してきましたが、地域の福祉など、地域社会の担い手という面ではまだまだ努力が必要です。

——数値目標の面では？

小西 会員数は5年間で300人増が目標で、福祉・家事援助事業進展の担い手となる女性会員の比率は35%まで引き上げます。

——「生きがいと地域ニーズを結ぶ」が副題です。

池浦 シルバーの基本理念である「自主」「自立」「協働」「共助」のもと、地域の活性化と地域社会への貢献も大前提にしています。会員として登録したからには、何事にも参画する姿勢が大事だと思います。ボランティアもそうですし、趣味的な同好会活動でもいい。人と関わることで、人生を豊かに過ごすことができると思うんですよ。自分で「これがやりたい」となれば、率先して動く。あるいはセンターの行事や活動、講習会などに参加して交流や親睦を深める。それこそが四つの理念の実践です。文字通り、個人の生きがい作りと地域のニーズ、活性化を、センターが結びつけているということですね。

(聞き手：市村茂満・川野正照)

南ブロック
地域活動の
あり方、
みんなで勉強!



南ブロック長 小畑 三郎さん
(天王校区)

行障害を回避し、人とつながり、地域活動に参加することで得られるメリットなど、具体例を交えた内容に、熱心に聞き入りました。

「体が元気で、社会に必要なとされ、地域で孤立せず、人を助け、助けられる生活こそが、高齢者の理想の姿」とのお話に、それはシルバーでこそ実現できる、という気持ちを強く持ちました。参加者にも好評で、今後の地域貢献活動に反映していきたいと思っています。

※講演会のテキストあります。関心のある方は事務局まで。

定時総会 5月30日(木) クリエイトセンターで開催

令和元年度シルバー人材センターの定時総会を下記の通り開催します。総会は、会員全体の意思が直接反映される場として最も大切な決定機関です。万

障繰り合わせのうえご出席ください。(欠席される場合は、議案書に綴じこみの委任状を必ず提出してください)

- 日時** 令和元年5月30日(木) 午後1時30分開会
- 場所** 茨木市・市民総合センター(クリエイトセンター)センターホール
- 案件** 平成30年度事業・決算の承認、平成31年度事業計画・予算の報告等



“優良センター”茨木シルバー

大シ協「安全・適正就業推進員会議」で事例発表



発表される西野さん

2月21日(木)にホテルアウイーナ大阪で、大シ協「安全・適正就業推進員会議」が開催されました。昨年、全シ協から、優良センターとして表彰された事故ゼロへの取り組み事例の発表のため出席しました。会議は大シ協事務局長の挨拶で始まり、上半期の事故発生状況の分析結果発表と平成31年度安全・適正就業推進基本計画と推進年次計画の報告がありました。休憩後、当センターの安全・適正就業委員会・西野

1月25日に、役員・地域校区委員・専門委員34人で、「地域班活動の充実」を先進的に取り組んでいる尼崎市シルバー人材センターを訪問・視察研修を実施し、大いに交流を深めることができました。

地域班活動の充実
尼崎市シルバー人材センターと交流

信夫委員長が、「除草・剪定業務に係る安全就業の取り組みについて」を発表されました。特に事故が多い草刈り業務中の飛び石による飛散事故を防止するために、草刈り機を「チップソー」から、作業効率の低下と材料代が上昇するものの事故防止を最優先させた「草刈丸(二枚刃)」に変更することを決断し、変更後は飛散事故「ゼロ」を実現したこと、また就業途上の事故防止のために自転車マナー講習会を定期的に開催していることも発表されました。(今泉正光)



聞き入る参加者

●視察研修会に参加して
尼崎市約46万人の人口や、たくさん民間企業・公共施設のある、大都市シルバーセンターの姿に圧倒されましたが、学ぶことの多い有意義な時間でした。共通の課題である会員数の増加を、難しい環境下で達成するには、地域への浸透が大切だということを感じました。

発表しました!!
除草・剪定の安全就業

大シ協から優良センターとして表彰された事例発表の依頼が当センターにあり、「除草・剪定業務に係る安全就業の取り組みについて」を発表をしました。事故ゼロを目指してどのような活動をしたのか、事故事例や紆余曲折を経て今日に至るまで、具体的に何を感じどのような形で行動に移したのか、その結果、事故ゼロに結びつけた当センターの今までの取り組みの成果を報告しました。そして、これからもこれらを継続し、また新たな取り組みについてもお話ししました。この発表が一つの契機になり、安全・適正就業への更なるレベルの向上につながることを祈っています。(西野信夫)

特徴的だったのは1階フロア。とても開放的で、就業相談の会員も気楽に入りやすそうで、好印象を持ちました。茨木もこんな場所になることを期待します。(大西英夫)



熱心に質疑応答

今年のおくらまつりは、3月31日と、初めて4月3日、5日の夜も販売しました。



シルバーセンター参加
3月31日(日)
【夜:4月3日と5日】

茨木市民 さくらまつり



当センターからぜんざい&コーヒーを出店!



よく売れました「ぜんざい」

さあ、販売スタート！
ぜんざいもコーヒーも好評。容器持参でぜんざいを買いに来られる人もいて美味しーとお客さんの声とともに50杯100杯と売れるたびに、「やったー」の歓声が弾けて、心まで温かくなってあつという間の時間でした。(ぜんざい400杯、コーヒー100杯、売上げました。)(近藤美津子)

家族みんなでするばー

3月21日(祝)
イオンモール茨木
ジョイプラザ&
JR側 屋外広場



和太鼓演奏

「カツオ」が振るまわれ、家族連れ
の長蛇の列が。協賛の高知県
には多くのご協力をいただきました。
屋内の催し物広場では、み
り幼稚園児の絵画展示やゲーム、
物販コーナーも大勢の人で一日
中賑わいを見せました。
今年のキャッチフレーズ「健
康(運動)と安全を学び楽しむ！」
を文字通り体現しました。
(川野正照)



リズムに合わせて「元気!いばらき体操」

茨木アクティブシニアフェスタ参加

2月17日(日) 高齢者活動支援センター

シニアプラザ茨木

シニアプラザ茨木(旧桑田荘)において、市内の高齢者団体を中心に開催され、約800人の来場者で賑わいました。



ハンバーガー調理中



当センター(クローバー)としてはハンバーガーの販売で参加し、予定の50食が1時間ほどで売り切れ大好評でした。各イベントも盛會に終わり、シニア世代の元気で活発な活動のアピールの場となりました。(柏木秋江)



新鮮な初カツオ



大人気の輪投げ

安全適正就業通信

事故「ゼロ」をめざして

事故「ゼロ」を目指し、安全な就業及び就業途上での事故防止の徹底を期すとともに、会員の健康管理意識の高揚を図る。適正就業については法令を遵守し、安全確認や適切な業務内容を推進する。

● 事故原因の究明、対策等

『安全はすべてに優先する』という志のもと、重大な障害・賠償事故が発生した際、緊急委員等を開催し検討。機関紙等でも、事故の内容を周知し会員へ注意喚起する。

● 安全就業への取り組み

7月の「安全就業強化月間」以外にも、安全・適正就業委員、安全就業推進員及び事務局職員が安全指導パトロールを随時実施する。

● 安全就業基準の徹底

就業現場のパトロールは、「安全就業基準」に基づき点検し、改善を要する場合は適切に指導する。

● 適正就業の徹底

契約内容に基づき業務の適正化をするともに、是正すべき点、改善すべき点についてはそ

れぞれの適正化を進め、より良い就業環境の実現を図る。

● 会員の健康管理

自らの健康は自ら守ることを基本に、年1回は健康診断を受診するよう機関紙等を通じて呼びかける。

● 安全・適正就業委員会の開催

安全・適正就業の取り組み及び進捗状況等について協議するため、必要に応じて委員会を開催する。また、新たな取り組みとして「地域別安全・適正確認推進会員」の制度をつくり、人材の育成を進め、点検体制の充実を図る。その他、事故防止等にかかる各種講習会を開催する。

年1回は健康診断を

受診しましょう!!

「健康、過信していませんか？」体調に変化がなくても、健康とは限りません。早期発見が肝心です。糖尿病・高血圧・動脈硬化など生活習慣病は現代人に無縁ではないです。簡単な検査や診察で健康な体調を維持しましょう。身体に異変を感じたら、早めにかかりつけ医師の診断を受けてください。

(伊澤正喜)



平成30年度 当センターの発生事故状況について 平成31年1月末日現在

発生日	職種	保険	就業・途上	事故状況(概要)
6月27日	受付業務	傷害	就業中	玄関前階段で足を滑らせ転倒し足を強打。左大腿骨骨折。
7月28日	個人宅水やり	傷害	就業中	散水により濡れた段差で転倒し全身打撲による骨盤骨折他。
8月2日	公園管理	賠償	就業中	自転車走行中の女性が散水用ホースに乗り上げ転倒、左膝を負傷させる。
8月23日	公園管理	傷害	就業中	運動広場の清掃中、生えていた竹で左目を突き、目に傷を負う。
8月29日	委員会会議	傷害	途上中	バイクで走行中、後方の自動車と接触。右鎖骨遠位端骨折、右肘部と右手指の擦過傷。
9月5日	福祉家事	傷害	途上中	自転車と接触し、右脇腹を打った。肋骨骨折(右脇腹)。
9月30日	公園管理	傷害	途上中	交差点で自転車を停車したところ、路面濡れにより滑り転倒。肘・腰・首を強打。
10月22日	通学路	傷害	途上中	横断歩道で対面の右折車にはねられる。頸椎捻挫、頭部・右肘・背部の打撲。
11月2日	独自事業	賠償	就業中	備え付けの分離式テーブルの角で、右手甲と人差し指に切創を負わせる。
12月11日	除草作業	賠償	就業中	枝葉除去中、配管沿いに敷設のテレビアンテナ線を草刈り鎌で切断。
1月17日	除草作業	賠償	就業中	水道管の蛇口に体が接触、蛇口根元部分を破損(折れる)。

平成30年度(件)	
傷害事故	7
①途上	(4)
②就業中	(3)
賠償事故	4
合計	11



理事会だより

第6回理事会が3月18日に開催され、左記の報告がありました。

▼報告事項

- 諸般の報告
- 正会員の入会について
- 各専門委員会の報告
- 「総務委員会」
- 「就業開拓委員会」
- 「安全適正就業委員会」
- 「福祉家事推進委員会」
- 「広報委員会」

▼議案

- 介護予防日常生活支援総合事業について
 - 平成31年度事業計画(案)について
 - 平成31年度収支予算(案)について
 - 第3次中期計画策定について
 - 職員規程の一部改正について
 - 就業基準の改正について
- 以上の報告と6件の議案が審議され、承認されました。

この会を持ちまして、平成30年度の理事会が終了し、5月1日からは「令和」が新たにスタートしました。

心も新たに頑張りましょう。

(藤原経平)



シルバー代表で島川・池浦両氏
テレビに生出演

2月1日(金)の地域の「旬」をいち早くお届けする、月々金曜日18時からの地デジ11ch(ジ・コムチャンネル)に島川理事長と池浦副理事長が生出演し、茨木市シルバー人材センターについて大いにアピールしました。

地域の行事やさまざまな情報とともに、今後もジ・コムと協力し、シルバー関連の行事やイベントも北摂6市のニュースとともに放映が予定されていて、楽しみです。(萩原啓輔)

講習会だより

交通安全・救命・自転車運転マナー講習会の報告

3月8日に交通安全講習会、2月22日・3月22日に救命講習会がセンター12階大会議室で、3月14日に自転車運転マナー講習会が中央公園南グラウンドで開催されました。交通安全講習会は65人、救命講習会は2月は31人、3月は74人。自転車運転マナー講習会は113人(内市民6人)が参加しました。交通安全・救命講習会は就業するうえで必須の

初スマホの講習を受けて



雨の日に初めてのスマホ講習会に参加し、その便利さに私は目を見張る思いでした。

今回使用したスマートフォンは、とても簡単に私にも使いこなせそうです。説明も分かりやすく良かったです。

年金暮らしの私には費用の面で心配は少々ありますが、子ども達と相談して前向きに考えたいと思います。またいろいろなアプリに挑戦して、孫たちとのラインのやりとりを覚えたいと思っています。スタッフの皆様へ感謝です。本当にありがとうございます。(北本和子)



交通安全の話聞く会員

講習会です。未受講の方や、3年以内に受講されていない方は、参加をお願いします。(萩原啓輔)

同好会だより
ハイキング同好会



2月3日、4日、ハイキング同好会の一泊旅行に男女28人が参加。目的地の三ヶ根方面(愛知県)へ向けて、高速をひた走りしました。

熱田神宮に参拝し、次の「ノリタケの森」で陶器の生地作りや絵付け等の作業を見学し、お宿「グリーンホテル三ヶ根」に到着。眺望抜群のホテルで大満足！宴会はカラオケで盛り上がりました。

2日目は蒲部海鮮市場で買い物をし、次の岡崎八丁味噌を見学後、記念写真を撮りました。

丸石醸造の酒蔵見学では、楽しみだった試飲の梅酒もおいしく、特に女性に大人気でした。真福寺参拝後、昼食に「竹の子

真福寺参拝後、昼食に「竹の子

シルバーショップ
「クローバー」だより

シルバーショップ「クローバー」は、スタッフの尽力と、会員の皆様、地域の方々に支えられて、創業以来毎年売り上げを伸ばし、平成30年度も前年度比20%強の成果を実現しました。そこで今年も会員対象に、売り上げ目標達成還元セールを行います。ぜひ皆様の



「八丁味噌」前にて記念撮影

料理」を賞味して帰路につき、午後5時に茨木駅で解散しました。とても楽しくお世話くださった方々に厚くお礼申し上げます。(泉 義徳)

日替わりランチ後の
コーヒーを無料に。
実施期間 5月13日～6月28日
精算時、シルバー会員証をご提示ください。

ご利用をお待ちしています。また、2月17日の「アクティブシニアフェスタ」には特製ハンパードー参加、1時間で完売するなど、大いにアピールできました。(上島恵子)

皆さんの仲間
(会員数)

3月31日現在	
男	1,005人
女	471人
計	1,476人

フラワーアレンジメント



ホーゲンフォルム
渡辺 光子

写真



ぼたん
東 久子

木漏れ日に
音あるような花の坂
春障子開めて光の箱となる
二年坂行きかう人も振り返る
舞妓姿の外へさんには
浅川八重子
富澤 秀雄

俳句・短歌

ひろば



同好会のお知らせ

- ハイキング: 毎月例会
- 書道: 第2・4月曜日
- パソコン: 第1・3火曜日
- 囲碁: 毎週水曜日
- 英会話: 第1・3木曜日
- 手芸(つくしの会):
第2火曜日・第4金曜日
- 料理: 第3火・水・木曜日

入会希望の方は「同好会入会申込書」をセンター事務局へ。

「平成」も終わり、新しい元号は「令和」となりました。さて、新元号は「大化」から始まって、何番目の元号でしょうか。

- 1 235番目
- 2 248番目
- 3 250番目

第27回クイズ

事務局体制 (平成31年4月1日から)

事務局長 小西 昭 事務局統括	事務局次長 飯倉 一史 事務局統括補佐・センター運営
事務局参事 大垣真知子 総務・経理統括・センター運営	事務局係長 長尾 克哉 業務統括・センター運営

業務担当	山口 敦	民間企業・派遣業務
	川崎 博一	派遣業務
	萩原 啓輔	公共業務
	伊澤 正喜	除草/剪定・襖/障子・何でも隊
	渡邊 康太	福祉家事業務・総合事業 (サポートセンター・シニアプラザ事業)
上島 恵子	シルバーショップ業務	

総務担当	塩見 美幸	経理・総務・庶務の付帯業務
	松本 一美	経理・総務・庶務の付帯業務
	鈴木 正一	総務・庶務の付帯業務

訪問介護事業所	いきいき支えあいセンター	
	岡村美紀子	管理者兼訪問事業責任者
	山下 邦子	訪問事業責任者
	田中美弥子	訪問事業責任者
平松 都	訪問事業責任者	

★センターの運営上、担当を変更する場合があります

編集後記

さあ、新緑風薫る5月。そして元号が新しく「令和」となりました。世の中が何もかも新しくなったような感じがします。私たちの身の回りの社会環境も「AI」などをはじめ、いろいろなことが大きく進化しています。シルバー世代も新しいこと、新しいものに触れ、興味を持つことは良いことで、大切なことです。ちよっぴり大層ですが、機関紙「シルバーいばらき」春号(114号)が発刊の運びとなりました。と言いますのは、広報委員8人(男女各4人)が2月中旬の企画

会議を皮切りに、3月に文章チェックと各紙面への割付作業、4月には出来上がった紙面の第1、第2、第3校正を経て、やっと5月初めに発刊の喜びを味わいます。ひと汗もふた汗もかいた感じではないです。よく読んでいただき、会員の皆様から、活発なご意見や投稿をいただきますと、うれしい限りです。広報委員一同、さらに進化し、進んでいきます。よろしくお願ひします。(廣澤元一)

目録842 ② 校正 事務局のメンバー